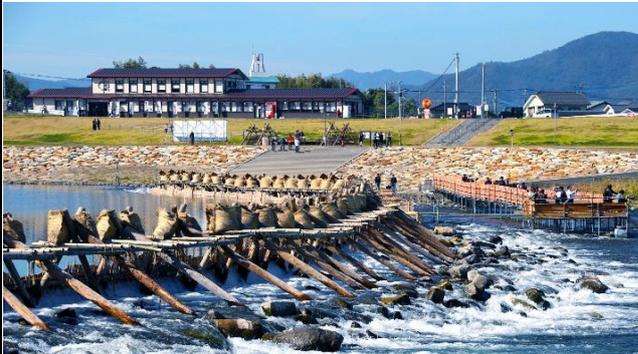


延岡市 民生委員児童委員協議会

法定単位民児協数 17 地区

令和6年4月1日現在

基本情報	〒 882-0842								
	宮崎県延岡市三ツ瀬町1丁目12番地4 延岡市社会福祉センター内 (延岡市社会福祉協議会)								
地域紹介	人口	112,109 人			世帯数	50,981 世帯			
	市民がまんなか 市民力・地域力・都市力が躍動するまち のべおか 延岡市は、江戸時代は城下町として栄え、近代以降は旭化成(株)を中心とする工業都市として発展し、平成時代の2度の合併で九州では2番目に広い市域を有するまちになりました。 西に祖母傾国定公園の山並みを望み、東には日豊海岸国定公園の海岸線、市内を五ヶ瀬川、北川などの清流が貫流する豊かな自然に恵まれ、東九州随一の工業集積に加え農林業や水産業など多彩な産業が調和する県北の中核都市です。 また、ゴールデンゲームズinのべおかや延岡西日本マラソン、のべおか天下一薪能などスポーツ、文化活動も盛んで、アウトドア体験スポット、神話や伝説、豊かな食資源など魅力あふれる地域になっています。								
									
鮎やな				のべおか天下一薪能					
委員構成	民生委員・児童委員								
	現任数	295 名		定数	322 名		充足率	91.6%	
	うち主任児童委員								
	現任数	34 名		定数	34 名		充足率	100.0%	
	1 期目	2 期目	3 期目	4 期目	5 期以上	男性	女性		
93 名	68 名	56 名	32 名	46 名	144 名	151 名			

		部会設置状況		
		高齢者福祉部会	・ 児童福祉部会	・ 生活福祉部会
		女性委員部会	・ 主任児童委員部会	・ 障がい者(児)福祉部会
		主な活動		
		<input checked="" type="checkbox"/> あいさつ運動	<input checked="" type="checkbox"/> 登下校見守り	<input type="checkbox"/> 防災活動
		<input checked="" type="checkbox"/> 自宅訪問	<input checked="" type="checkbox"/> 学校訪問	<input checked="" type="checkbox"/> 施設訪問・慰問
		<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者サロン	<input checked="" type="checkbox"/> 子育てサロン	<input checked="" type="checkbox"/> 多世代交流サロン
		<input type="checkbox"/> 移動・買い物支援	<input checked="" type="checkbox"/> 学習支援	<input checked="" type="checkbox"/> フードバンク 子ども食堂・地域食堂
活動 内容	<p>延岡市民生委員児童委員協議会は17地区に分かれて活動しており、地区ごとに毎月定例会を行い、行政や社協との情報共有や研修会、委員間での日々の活動報告、悩みの共有の機会を確保しています。また、課題となっている委員のなり手不足への対応として、訪問活動時にPRカードで周知をすると共に、活動強化週間には、地区の沿道やスーパーでの街頭PR、欠員地区でのチラシ配布を行う他、今年度は17地区会長による市役所玄関前での広報活動を行いました。</p> <p>6つの部会では、部会長主導のもとそれぞれ年4回、多様化する地域課題に対応するため、研修会や野外研修、他地区の委員との意見交換を通して意識の向上に努めています。研修の内容は、高齢者虐待やヤングケアラー、防災、自立支援協議会との合同研修などメンバーが今学びたいことを取り上げています。</p> <p>地域においては、安心カード配布や推進チーム、いきいきサロン、百歳体操と協力した高齢者見守り活動、ハンディキャップ体験学習の指導員として福祉教育やこどもの交通見守り、学校運営協議会、子育てサロン、子ども食堂、地区社協等地域づくり活動へ参加・協力しています。民児協全体としても、歳末たすけあい募金を活用し、12月に寝たきり高齢者・障がい者への紙おむつの配布を行っており、令和9年の延岡市民生委員児童委員制度創設100周年に向け委員一人一人が自身のできる活動に取り組んでいます。</p>			
	  			
	<p>登下校時の見守り活動 子育てサロン いきいきサロン</p> <p>メッセージ</p>			
<p>延岡市民児協は、中心部、山間部、海岸部と地域の特性及び抱える課題は様々ですが、「支え合う 住みよい社会 地域から」をスローガンに地域住民が安心して過ごせる地域づくりを目指し活動しています。</p>				